



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月9日

上場会社名 協立電機株式会社
 コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西 信之
 (氏名) 江口 和之
 TEL 054-288-8888

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	23,335	△1.1	1,167	16.8	1,256	27.0	1,032	36.1
28年6月期第3四半期	23,600	7.0	999	26.8	988	2.4	758	25.1

(注)包括利益 29年6月期第3四半期 1,319百万円 (124.2%) 28年6月期第3四半期 588百万円 (△14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	256.52	—
28年6月期第3四半期	189.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	23,729	10,190	41.1
28年6月期	21,735	9,032	39.9

(参考)自己資本 29年6月期第3四半期 9,759百万円 28年6月期 8,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.3	1,300	7.9	1,340	14.5	1,080	42.4	268.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	4,369,200 株	28年6月期	4,369,200 株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	344,592 株	28年6月期	348,754 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	4,024,648 株	28年6月期3Q	4,006,591 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界及び我が国の経済情勢は、米国経済が好調に推移していること等より、国内及び海外経済のファンダメンタルズは順調に改善されているものの、欧州における政治リスク、中東・北朝鮮等の地政学的リスク等も意識され、将来の不確実性に対する漠然とした不安が拡大する状況で推移しました。

当社グループとしましては、縮小する国内設備投資による取引停滞を直接的（輸出）、間接的（国内仕切）に海外の新規需要を取り込むことで業績を拡大してまいりましたが、当四半期までの累計では、前年同四半期累計に太陽光発電関連取引で利幅の薄い大型取引があったこと、グループ全社で売上総利益率の改善に取り組んだ成果が現れたこと、前年同四半期累計にあった為替差損が為替差益に変化したこと、固定資産売却益が特別利益として計上されたこと等から、若干の減収ではありますが大幅な増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は233億35百万円（前年同四半期比1.1%の減）となり、損益面としましては、営業利益が11億67百万円（同16.8%の増）、経常利益が12億56百万円（同27.0%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が10億32百万円（同36.1%の増）となりました。尚、第3四半期の実績としましては営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の項目に関して、過去最高となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、輸送機業界向や家電業界向等を中心とした試験装置取引等が好調で、斯様なシステム取引に於いてはソフトウェア開発等を通じて付加価値を高めた結果利益率が大きく改善し、増収・大幅増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は82億58百万円（前年同四半期比1.0%の増）、営業利益は5億35百万円（同53.6%の増）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においては電気・計装関係の取引は底堅く推移しましたが、前年に比べ工作機械に対する補助金が大幅に圧縮され、メカトロニクス関係の子会社が前年好調の反動を受けたことから、減収・減益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は150億19百万円（前年同四半期比2.3%の減）、営業利益は8億60百万円（前年同四半期比4.6%の減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は237億29百万円で、前連結会計年度末に比べ19億93百万円の増加となりました。これは主として有形固定資産が9億75百万円減少した一方、現金及び預金が15億50百万円、受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が11億38百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が135億38百万円で、前連結会計年度末に比べ8億34百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が6億1百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が101億90百万円で、前連結会計年度末に比べ11億58百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が8億71百万円増加したことと株価上昇によりその他有価証券評価差額金が2億16百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の足元の状況は、好調な米国経済に引っ張られる形で世界経済全体が好調であり、我が国もその恩恵を受ける形で強含みに推移しています。但しその前提となるヒト・モノ・カネの自由な移動に対して政治的な理由から制限を加えようとする動きが北米及び欧州を中心に起こってきており、そのことが為替レートの変動等を通じて今後の我が国経済に様々な影響を与える可能性も考えられます。

当連結会計年度では、インテリジェントFAシステム事業の利益率大幅改善に加え、営業外利益や特別利益も増加したことから、平成29年6月期の通期連結業績予想につきましては、本日公表した修正業績予想の数字になるものと予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,656,773	3,207,102
受取手形及び売掛金	9,391,603	10,192,853
電子記録債権	1,115,406	1,453,041
有価証券	103,495	113,826
商品及び製品	498,298	448,718
仕掛品	444,637	301,251
原材料	470,893	537,532
その他	392,918	722,374
貸倒引当金	△74,295	△47,756
流動資産合計	13,999,732	16,928,944
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,905,056	4,016,971
その他(純額)	893,487	805,902
有形固定資産合計	5,798,544	4,822,873
無形固定資産		
	96,179	95,197
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,369	1,490,342
その他	496,646	452,473
貸倒引当金	△60,690	△60,724
投資その他の資産合計	1,841,325	1,882,091
固定資産合計	7,736,050	6,800,162
資産合計	21,735,782	23,729,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,591,915	6,940,731
電子記録債務	884,718	1,137,119
短期借入金	1,800,000	1,706,500
未払法人税等	341,117	241,173
賞与引当金	139,849	281,182
役員賞与引当金	39,945	-
工事損失引当金	49,600	-
その他	586,269	963,860
流動負債合計	10,433,415	11,270,568
固定負債		
長期借入金	1,700,000	1,700,000
退職給付に係る負債	204,507	208,746
その他	365,740	359,000
固定負債合計	2,270,247	2,267,747
負債合計	12,703,663	13,538,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,860,111	1,861,587
利益剰余金	5,776,829	6,648,422
自己株式	△429,003	△423,922
株主資本合計	8,649,377	9,527,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,849	232,305
その他の包括利益累計額合計	15,849	232,305
非支配株主持分	366,891	430,958
純資産合計	9,032,119	10,190,791
負債純資産合計	21,735,782	23,729,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	23,600,625	23,335,369
売上原価	19,904,869	19,403,120
売上総利益	3,695,755	3,932,249
販売費及び一般管理費	2,696,393	2,765,215
営業利益	999,362	1,167,033
営業外収益		
受取利息	6,359	4,411
受取配当金	12,406	12,142
仕入割引	26,257	26,804
為替差益	-	39,063
雑収入	18,417	21,721
営業外収益合計	63,440	104,143
営業外費用		
支払利息	11,790	8,585
手形売却損	454	534
売上割引	2,319	2,699
為替差損	56,265	-
雑損失	3,004	3,128
営業外費用合計	73,834	14,948
経常利益	988,968	1,256,228
特別利益		
固定資産売却益	2,032	261,014
投資有価証券売却益	52,967	82,575
受取保険金	242,336	-
特別利益合計	297,336	343,589
特別損失		
固定資産除却損	406	20,852
固定資産売却損	6	77
投資有価証券売却損	-	4,170
投資有価証券評価損	36,475	-
お別れの会関連費用	10,605	-
その他	-	627
特別損失合計	47,494	25,727
税金等調整前四半期純利益	1,238,810	1,574,090
法人税等	441,191	486,741
四半期純利益	797,619	1,087,348
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,265	54,938
親会社株主に帰属する四半期純利益	758,353	1,032,410

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	797,619	1,087,348
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△209,221	232,066
その他の包括利益合計	△209,221	232,066
四半期包括利益	588,398	1,319,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	572,373	1,248,866
非支配株主に係る四半期包括利益	16,024	70,547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,173,072	15,367,039	23,540,112	60,512	23,600,625
セグメント間の内部売上高又は振替高	152,961	68,066	221,028	52,299	273,327
計	8,326,034	15,435,106	23,761,140	112,812	23,873,952
セグメント利益	348,776	901,965	1,250,742	88,448	1,339,190

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,250,742
「その他」の区分の利益	88,448
全社費用(注)	△339,828
四半期連結損益計算書の営業利益	999,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,258,570	15,019,862	23,278,433	56,936	23,335,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	370,301	261,333	631,635	52,895	684,531
計	8,628,872	15,281,196	23,910,069	109,832	24,019,901
セグメント利益	535,611	860,369	1,395,981	87,006	1,482,988

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395,981
「その他」の区分の利益	87,006
全社費用(注)	△315,955
四半期連結損益計算書の営業利益	1,167,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。